

これまでの輸送・埋立の 状況等について

資料1

輸送・埋立の実績について

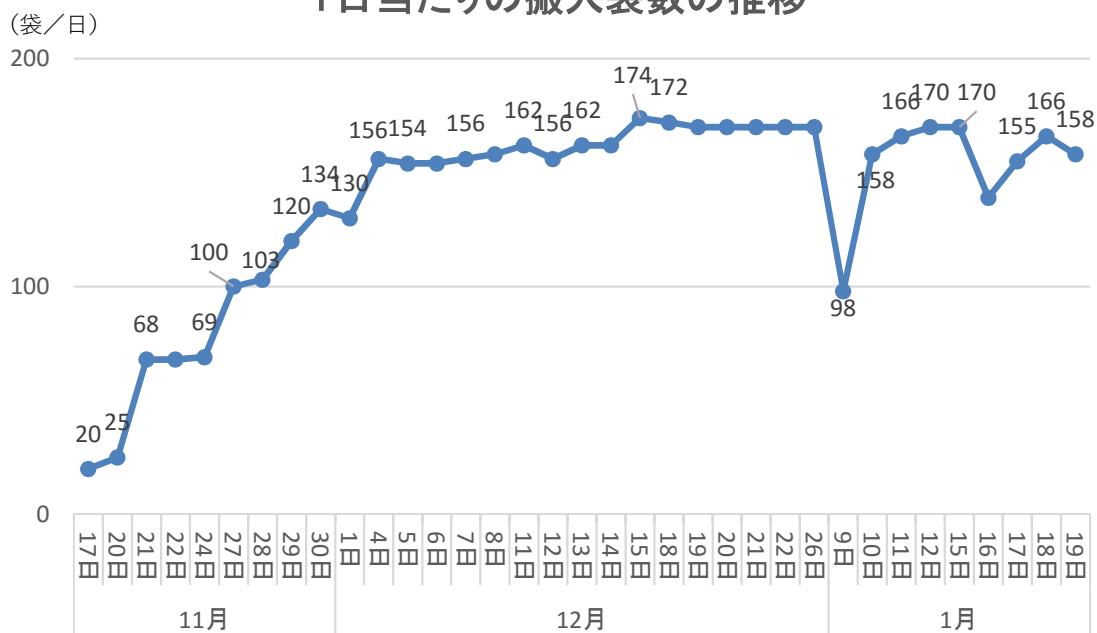
- 平成29年11月17日（金）に搬入を開始。
- 平成30年1月22日（月）からは、高速道路を利用した輸送を開始。
- これまでの輸送・埋立の実績は、累計で、平成30年1月29日現在、

- ・ 搬入された廃棄物（袋数） * . . . 5,181袋
- ・ 輸送車両延べ台数 . . . 1,030台

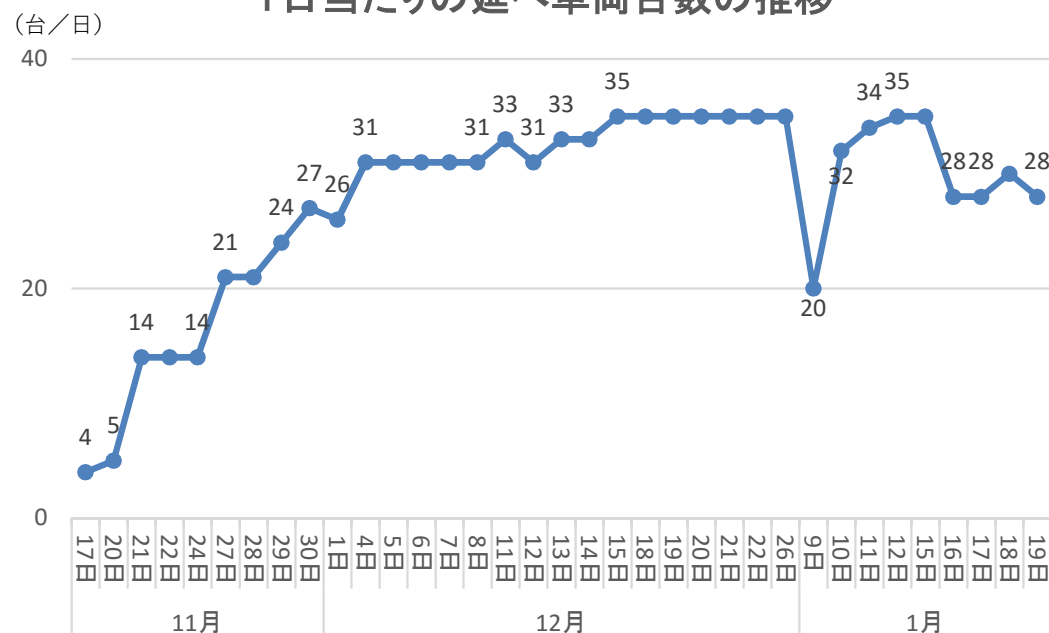
（*…地盤改良用収納容器、及び、セメント固型化済みの角形フレキシブルコンテナの合計。）

（※…輸送計画に基づく「搬出の考え方」において、平成30年度末までに、75,000袋程度を総搬入可能量と設定。）

1日当たりの搬入袋数の推移



1日当たりの延べ車両台数の推移



（注）土日祝日を除いた日を表示。12月25日は荒天により作業中止。

搬出・輸送時の作業について

搬出場所

① タグ付け、データ管理、必要事項書面の作成



項目	内容	担当者	日付
品名
数量
仕入先
出荷先
備考

② 積み込み、固縛、シート掛け

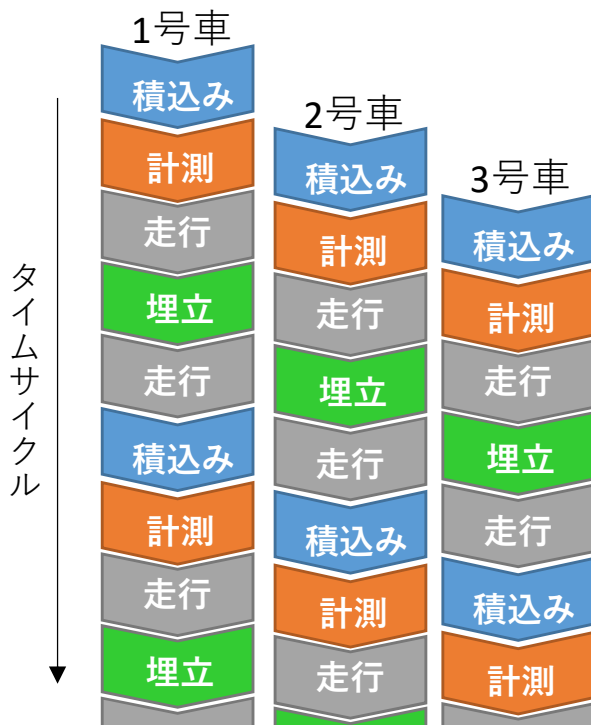


③ 車両の線量計測

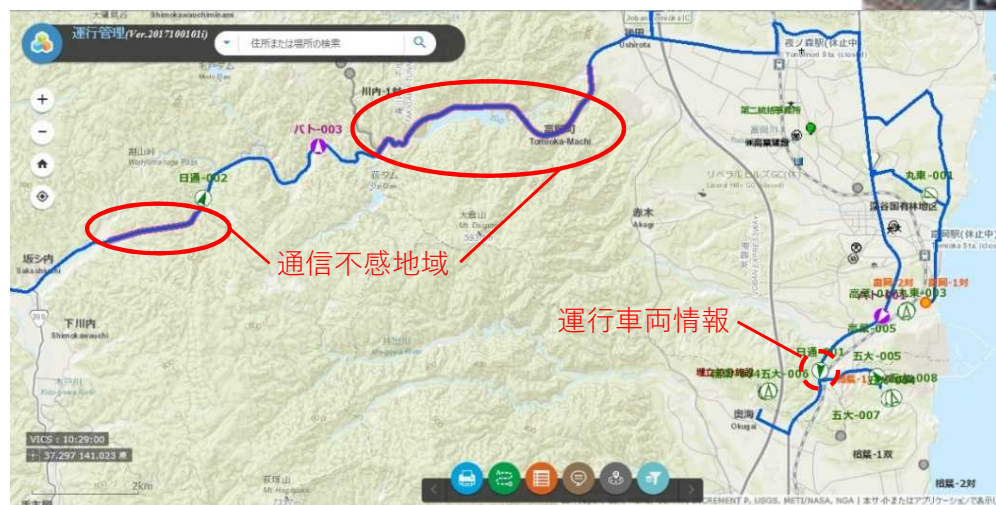


輸送

④ 運行計画管理



⑤ 運行状況の把握



⑥ パトロール車の活用*



パトロール車：
通信不感地域（GPS車載器等からの電波が届かない）を走行する場合等、状況に応じて、パトロールを実施。

受入管理・埋立作業について

処分場内

埋立地内

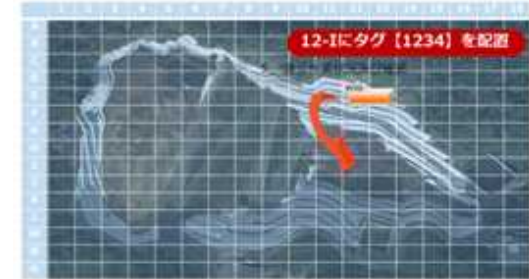
④荷下ろし、設置作業



⑤間詰め、転圧作業



⑥埋立位置情報の記録・管理



③自動タグ読取、シートはがし、重量計測



⑦退出前の計量



⑧退出前のタイヤ洗浄



②ゲートモニターによる自動線量計測



①必要事項書面等の確認



⑨車両の表面汚染密度の計測



試験輸送の確認・検証結果について

- 搬入開始後の2週間程度は、「試験輸送」として、以下の項目の確認を実施。
 - 搬出手順、搬入手順の確認（必要事項書面、放射線量計測等、自動タグ読取ゲート等）
 - 運行状況、タグ情報等管理システムの作動の確認
 - 安全面の確認（誘導員配置、場内車両導線、作業員の被ばく管理等）
 - 走行時車両の荷状況の安定性を確認（荷姿荷崩れ、固縛状況、シート掛け等）
 - 運行計画書による運行タイムスケジュール管理（運行時間、各作業時間等）の確認
- 当初は、積込み作業に時間を要する等の課題があったが、その後改善。主な改善事項は以下のとおり。
 - 教育の徹底、不要な情報の読取りをしないようシステム変更、タブレット予備機の用意、等による、タグ情報読取り作業の円滑化。
 - その他、作業スペースの確保、荷台シートの掛け方の指導、車両後退時に誘導を確実に行う等により、積込み作業を効率化。
 - 荷台シートの種類を変更したことによる、荷台シートはがし作業の効率化。

教育・訓練等について

○事業者により実施される作業員の教育・訓練に加え、環境省が主催して、以下の教育・訓練等を実施。

搬出場所

○積込作業に対する安全パトロールの実施。



輸送

○運転手に対しての安全教育の実施。



○緊急時を想定した合同訓練の実施。



埋立処分施設

受入管理、埋立処分作業に対する安全パトロールの実施。



これまでの輸送・埋立で生じた問題及び講じた対策について

詰替場所への輸送中のルートへの逸脱

概要

平成29年末に発生。

- 10:15 正規のルートからの逸脱が発生。
- 10:20 連絡を受け、運行管理室にて、環境省職員及び運行管理責任者が、復旧ルートを検討。
- 10:25 復旧ルートをパトロール車が試運転。
- 10:40 パトロール車が復旧ルートを通行可能と報告。
- 10:43 パトロール車の先導の下復旧ルート走行開始。
- 10:55 正規ルートに復帰。

原因及び対策

- ①左折箇所が複数あり、車線変更箇所が分かりづらい。
- ②運搬車両による事前のルート確認や、注意が不十分。

- ルート逸脱への注意の必要性を強調して教育。
- 事前のルート確認を徹底。配車予定の早期確定。
- 積込場所で全車両に当日のルートの注意事項を配布。運転者等はこれを朗読し、確認のためにサインする。

滞水した廃棄物の容器の輸送

概要

平成30年 1月24日に発生。

- ・荷卸した廃棄物の容器内部に滞水を発見。 →輸送を停止。
- ・翌25日、安全対策を講じた上で滞水の容器等を搬出元に返送。(輸送時に漏水はない旨を確認)
- ・29日、下記の対策を確定。
→30日、屋内の保管箇所から輸送再開。



収納容器点検表

品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果
品名	車	日	検査項目	検査結果

原因及び対策

- ①保管中の廃棄物の容器に遮水シートをしたが、重ね部分や風でめくれた箇所から、雨水が浸入してしまった。
- ②搬出時に滞水を確認する仕組みがとられていなかった。

- 屋外の保管場所を中心に、雨水等の対策を徹底する。(シートの重ね部分や勾配の確保、容器の個別カバー等)
- 搬出時、目視・触手による滞水の確認を点検項目に追加。
- 容器の特性、遮水シート対策の必要性を徹底して指導。